

防災・減災部門

応募事例名

市街地再開発事業と連携した浸水対策の取組

応募団体名)千葉市

応募事例の概要

県都千葉市の中心市街地への玄関口「JR千葉駅東口」では

近年の大雨により浸水が多発しているが、中心市街地であり、抜本的な浸水対策整備は困難な状況

老朽化した建築物の再編や、土地の高度利用の必要性



浸水対策・市街地再開発の一体的な整備
【再開発区域内に雨水バイパス管を整備】



雨水バイパス管ルート図

(C) OpenStreetMap contributors



再開発駅前ビル

PRポイント

市単独事業区間と再開発組合との協定による事業区間に分け実施。
再開発ビルの下部にバイパス管を布設することで浸水被害軽減と、駅前の賑わい創出や利便性向上の両立ができた。



下水道施設部長
山田 裕之

取組みに関するエピソード

中心市街地内での事業であり、再開発組合、地元商店街、既設地下埋設管理者など多くの関係者との調整が必須でしたが、協議を重ねることにより事業を進めることが出来ました。